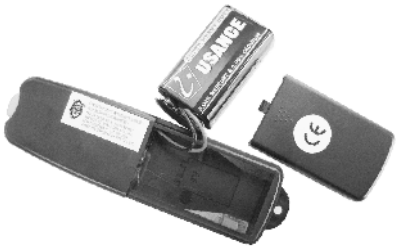
## 1. 機能

本機は紙幣の特徴をチェックする3つの機能を持っています。

- ○ **白色LED**　：暗い場所でのすき入れ（透かし）チェックに有効。
- ○ **紫外線LED**　：紫外線蛍光インクのチェッ
- ○ **磁気ヘッド**　：磁気インクのチェックに有

## 2. 電池の装填

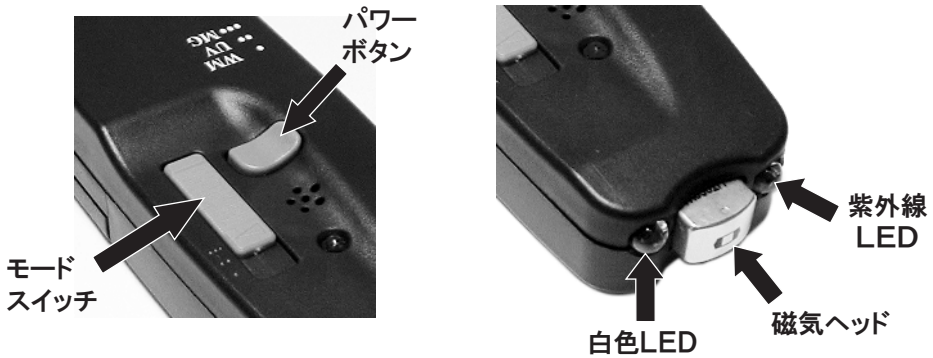
本体背面の電池ボックスを開けて、
006P（9V）電池を装填します。



## 3. 紙幣チェック

モードスイッチで3つの機能を選択します。

- ・　：**WM**　すき入れ（透かし）チェック
- ・・：**UV**　紫外線蛍光チェック
- ・・・：**MG**　磁気インクチェック




### 3. 1　すき入れ（透かし）チェック

モードスイッチを **WM** にセットし、パワーボタンを押すと白色LEDが点灯します。この光に紙幣をかざして、すき入れ（透かし）の有無をチェックします。

日本円旧札（1984年発行D券・紙幣中央部のすき入れ肖像）、新札（2004年発行E券・紙幣中央部のすき入れ肖像画と右側肖像画の背景に縦線）をチェックすることができます。

### 3. 2　紫外線蛍光チェック

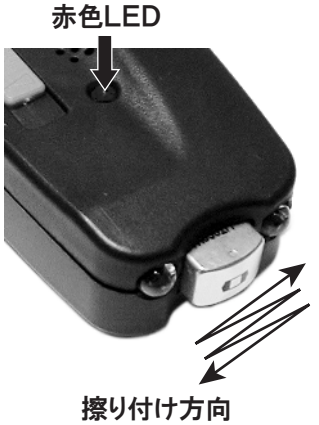
モードスイッチを **UV** にセットし、パワーボタンを押すと紫外線色LEDが点灯します。この光を紙幣の紫外線蛍光部分に当てて、紫外線蛍光インクの有無をチェックします。

日本円新札（2004年発行E券）と二千円券（2000年発行D券）は紫外線で日銀総裁印部分がオレンジ色に光りますので、この方法でチェックすることができます。

### 3. 3　磁気インクチェック

モードスイッチを **MG** に設定し、パワーボタンを押したままの状態で、磁気ヘッドを紙幣の印刷色が濃い部分にすばやく数回擦り付けます。
紙幣に磁気ヘッドが密着するように掌や柔らかい布等に紙幣を乗せた状態で擦り付けると簡単です。
磁気インクを検出すると、ブザー音が断続的に鳴り、パワーボタン横の赤色LEDが点滅します。

旧札（1984年発行D券）、新札（2004年発行E券）どちらも磁気インクを採用していますので、この方法でチェックすることができます。




## 4. 日本の紙幣について

日本円紙幣の特徴や詳細等については、国立印刷局が発行する資料や国立印刷局ホームページ　http://www.npb.go.jp/　をご参照ください。

（既出のD券、E券の名称は印刷局のホームページ上で表記されている名称です）

## 5. 海外の紙幣について

ユーロ、米ドル、韓国ウォン、台湾ドル、香港ドル、中国元、シンガポールドル、インドネシアルピー、フィリピンペソなどの各国紙幣についても、3種の方法のいずれか、または複数の方法でチェック可能です。各国紙幣の特徴や詳細については各国の政府機関にお問い合わせください。

## 6. 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 紫外線波長 | ： | 375nm |
| 電源 | ： | 006P電池（9V）×1 |
| 外形寸法 | ： | 121×35×22mm（ボタン等の突起部を除く） |
| 重量 | ： | 約40g（電池重量を含まず） |

## 7. 電池の消耗・交換時期について

電池が消耗してくると、まず消費電流が大きい紫外線LEDが点灯しなくなりますが、この状態になっても白色LEDと磁気ヘッドは十分に動作します。
チェックに紫外線を必要としない場合は、白色LEDの明るさが不足してきたら新しい電池に交換してください。

## 注意事項

- ○ **紫外線は目に有害です。絶対に紫外線LEDを直視したり、人に向けたりしないでください。**
- ○ **本機は、各国紙幣の偽造防止技術で印刷された部分を確認できる機能を有しておりますが、紙幣の真偽を判定し保証するものではありません。**